

第146回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年5月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,957	-1.46	-0.01	4,052	-0.44	0.12
東部地区	14,238	-0.70	-0.14	5,577	0.23	-0.07
西部地区	10,846	0.85	-0.08	4,003	2.85	0.04
駅南地区	6,400	-0.15	0.31	2,650	1.88	0.41
半田地区	3,560	0.70	0.25	1,310	1.86	0.38
横山地区	5,631	-0.70	-0.17	1,836	-0.27	0.00
茨目・田尻地区	6,875	-0.79	0.43	2,279	-1.93	0.44
荒浜地区	5,217	-1.15	-0.03	2,025	0.34	0.04
その他地区	21,413	-2.15	-0.17	7,176	-1.03	-0.09
西山町地区	6,482	-1.62	0.01	2,152	-0.41	0.04
高柳町地区	2,022	-4.21	-0.29	848	-1.39	-0.23
柏崎市計	92,641	-1.03	-0.02	33,908	0.11	0.06
刈羽村	4,972	-0.40	-0.02	1,536	1.45	0.19
小国地区（長岡市）	6,570	-1.32	-0.04	2,157	0.41	0.04
出雲崎町	5,308	-1.52	-0.13	1,827	0.05	-0.05
合計	109,491	-1.04	-0.03	39,428	0.18	0.06

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市で966人、1.03％、刈羽村で20人、0.40％、小国地区（長岡市）で88人、1.32％、出雲崎町で82人、1.52％とそれぞれ減少し、全体では1,156人、1.04％の減少となった。

また、前月比においても、柏崎市で26人、0.02％、刈羽村で1人、0.02％、小国町で3人、0.04％、出雲崎町で7人、0.13％と減少したことから、全体では37人、0.03％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では柏崎市で40世帯、0.11％、刈羽村で22世帯、1.45％、小国町で9世帯、0.41％、出雲崎町で1世帯、0.05％と増加し、全体では72世帯、0.18％と増加している。

また、前月比においても、柏崎市で22世帯、0.06％、刈羽村で3世帯、0.19％、小国町で1世帯、0.04％と増加したことから、全体では25世帯、0.06％の増加となった。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,204		-3.75		-3.37	
月間有効求職者	1,073		-15.97		-3.07	
月間有効求人倍率	1.12	0.71	0.14*	-0.18*	-0.01*	-0.03*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,204人と前年同月比で47人、3.75％の減少、前月比でも42人、3.37％と減少した。

一方、月間有効求職者数も1,073人と前年同月比で204人、15.97％と大幅に減少、前月比でも34人、3.07％と減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.12倍と前年同月比で0.14ポイント上回ったものの、前月比では0.01ポイント下回っている。なお、県平均0.71倍に対しては0.41ポイント上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が439人と前年同月比で30人、6.40％の減少、月間新規求職者数も292人と前年同月比で89人、23.36％と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は1.50倍と前年同月の1.23倍に対して0.27ポイント上回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年5月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 (併 用)	95	70	-39	229	167
共 同 住 宅	0	0	0	0	-4
事 務 所	0	-1	-3	3	2
作 業 所 ・ 工 場	1	-1	-3	5	-2
営 業 建 物	6	4	3	9	5
公 共 建 物	1	0	1	1	0
そ の 他	22	7	14	30	7
合 計	125	79	-27	277	175

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が125件と前年同月比で79件と増加したものの、前月比では27件の減少となった。工種別内訳の主な増減を見ると、前年同月比では一般住宅（併用）で70件の大幅な増加となったが、前月比では同じ一般住宅（併用）で39件の減少となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が61件、増築が44件、改築が20件となっている。また、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が53件（うち新築16件、増築29件、改築8件）、市外施工業者が42件（うち新築24件、増築6件、改築12件）となった。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,850	1.92	0.14	18,490	-2.08	-3.23
電 力	11,645	-5.51	0.15	42,006	-5.79	-5.15

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で1,243口、1.92%の増加、前月比でも95口、0.14%の増加となった。一方、電力では前年同月比で680口、5.51%の減少となったものの、前月比では18口、0.15%と増加している。

使用量においては、電灯が前年同月比で394kwh、2.08%の減少、前月比でも618kwh、3.23%と減少している。一方、電力も前年同月比で2,583kwh、5.79%の減少、前月比でも2,282kwh、5.15%の減少となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,337,971	-12.42	-20.00	706,412	-3.17	1.46
営 業 用	190,388	-7.22	-21.06	127,093	-2.65	-0.79
工 場 用	557,125	36.48	-15.19	120,745	-9.85	-11.27
官 公 学 校 用	204,110	-26.58	-40.59	77,027	-9.95	4.69
そ の 他				226	-15.35	63.76
合 計	2,289,594	-5.36	-21.43	1,031,503	-4.47	-0.25

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途全体では前年同月比で129,687m³、5.36%の減少、前月比では624,748m³、21.43%の大幅な減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用が大幅に増加したがその他全ての用途で減少、前月比では全ての用途で大幅に減少している。

一方、水道給水量においても、前年同月比で48,347m³、4.47%の減少、前月比でも2,609m³、0.25%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では全ての用途で減少、前月比では営業用、工場用で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	87,195	13.77	5.94	91,244	13.09	5.78
西 山	57,168	38.52	10.84	53,173	41.84	12.87
米 山	27,241	7.83	12.71	25,154	13.01	13.39
合 計	171,604	19.85	8.57	169,571	20.75	9.01

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で28,433台、19.85%の大幅な増加、前月比でも13,557台、8.57%と増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で29,145台、20.75%の大幅な増加、前月比でも14,023台、9.01%の増加となっている。

インター別の内訳を見ると、前年同月比では全てのインターの入口・出口で大幅な増加となっており、前月比においても全てのインターの入口・出口で増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
末 残	356,841	6.40	1.74	141,144	4.12	0.59
平 残	351,170	4.90	0.37	139,807	3.55	-3.32

預金は、末残が前年同月比で21,480百万円、6.40%の増加、前月比でも6,112百万円、1.74%の増加となっている。また、平残においても前年同月比で16,430百万円、4.90%の増加、前月比でも1,316百万円、0.37%の増加となり、末残・平残ともに堅調な推移を示している。

一方、貸出金においては、末残が前年同月比で5,586百万円、4.12%の増加、前月比でも838百万円、0.59%と増加している。また、平残においては、前年同月比で4,801百万円、3.55%の増加となったが、前月比では4,814百万円、3.32%の減少となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,020	-21.89	-6.65
交 換 金 額	3,965	-29.12	-20.25
不 渡 り 手 形 枚 数	1	0.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	0.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、当月末日の休日要因で交換枚数が前年同月比で1,407枚、21.89%の減少、前月比でも358枚、6.65%と減少している。また、交換金額においても、前年同月比で1,629百万円、29.12%の減少、前月比でも1,007百万円、20.25%と減少した。なお、不渡手形は1件、41万円が発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産は7件（前年同月8件、前月14件）、負債総額7億円（同4.1億円、同3.1億円）、1件当たりの負債額1億円（同5億円、同2億円）となった。

地区別では下越地区で2件（新潟市2件）、中越地区で4件（長岡市4件）、上越地区で1件（糸魚川市1件）発生している。業種別は建設業2件、製造業1件、販売業2件、サービス業・その他2件で、倒産原因別の状況は販売不振5件、その他2件となっている。

当月の企業倒産は7件、負債総額で7億円と前年同月比では件数で1件減少、負債総額で3.4億円減少している。また、負債総額では1億円以下の倒産が7件中6件を占めるなど、小規模企業の倒産が目立っている。なお、法的整理以外では建設業者が事業停止に追い込まれたケースが多く確認されており、公共事業の削減、競争激化、資材価格の上昇などにより、当面、厳しい環境が続くことが予想される。

県内企業は、総じて原材料高が収益に影響を及ぼしており、特に価格交渉力に劣る中小零細企業の淘汰が進む恐れもあり、今後の倒産動向も引き続き注視していく必要がある。